

第1回江東区消防団運営委員会 次第

令和6年1月22日(月) 午前10時00分
区防災センター4階 災害対策本部室

1 開 会

2 委員紹介

3 区長挨拶

4 議長挨拶

5 報 告

都知事諮問事項(令和3年10月21日付 3東消防消第805号)
「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策
はいかにあるべきか」についての答申結果

6 議 題

都知事諮問事項(令和5年8月16日付 5東消防消第431号)
「変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に
応え続ける方策はいかにあるべきか」に対する審議

7 閉 会

配布資料

資料1	第一回江東区消防団運営委員会名簿
資料2	諮問事項(3東消防消第805号)に対する答申結果
資料3-1、2	都知事諮問事項(5東消防消第431号)
資料4	諮問に対する審議予定

江東区消防団運営委員名簿

令和6年1月22日現在

役職名	氏名	備考
委員長 (区長)	大久保 朋果	
区議会議長	山本 香代子	
区議会議員	中嶋 雅樹	
〃	堀川 まさひろ	
〃	関根 友子	
〃	西部 ただし	
〃	二瓶 文隆	
学識経験者	馬締 和久	江東区町会連合会長
〃	山下 勝義	深川防火防災協会会長
〃	小泉 博久	城東防火防災協会会長
〃	大塚 善彦	副区長
深川消防署長	榎野 稔	
城東消防署長	椎名 理	
深川消防団長	田口 賢治	
城東消防団長	青木 清美	

(計15名)

令和6年1月22日
江東区消防団運営委員会
事務局：深川消防署警防課

都知事諮問事項（令和3年10月21日付 3東消防消第805号）
「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策
はいかにあるべきか」についての答申結果

1 諮問事項の趣旨

特別区消防団は、それぞれの地域での密着性を生かしながら、災害発生時には消火を中心とした活動を積極的に行うとともに、平時においても、火災予防の啓発や住民への各種訓練指導等の役割を担うなど、地域住民から頼られる存在である。

今後、発生が危惧されている「首都直下地震」や「南海トラフ地震」等の震災時には、その特性を生かした迅速な出場による初期消火をはじめ、木造・防火造建物の密集地域での消火活動、また、消防隊との連携による延焼阻止活動、さらには長時間に及ぶ消火活動など、その役割は普段の活動以上に多岐にわたることが考えられ、当庁との連携を考慮した組織的な対応が必要となる。

このことから、消防団の実戦的な対応力の更なる向上が、震災時における「より効果的な活動」につながると考えられることから、特別区消防団の消火活動能力の向上方策について諮問がなされたものである。

2 江東区消防団運営委員会における審議経過

(1) 審議期間

令和3年10月から令和5年3月31日まで（1年6か月）

(2) 審議経過

ア 第1回 令和4年 2月14日（書面開催）

イ 第2回 令和4年 9月 1日

ウ 第3回 令和5年 1月24日

※ 令和5年3月7日 東京都知事へ提出

(3) 東京都知事へ提出された内容

資料2-2「江東区消防団運営委員会諮問に係る答申 概要一覧」参照

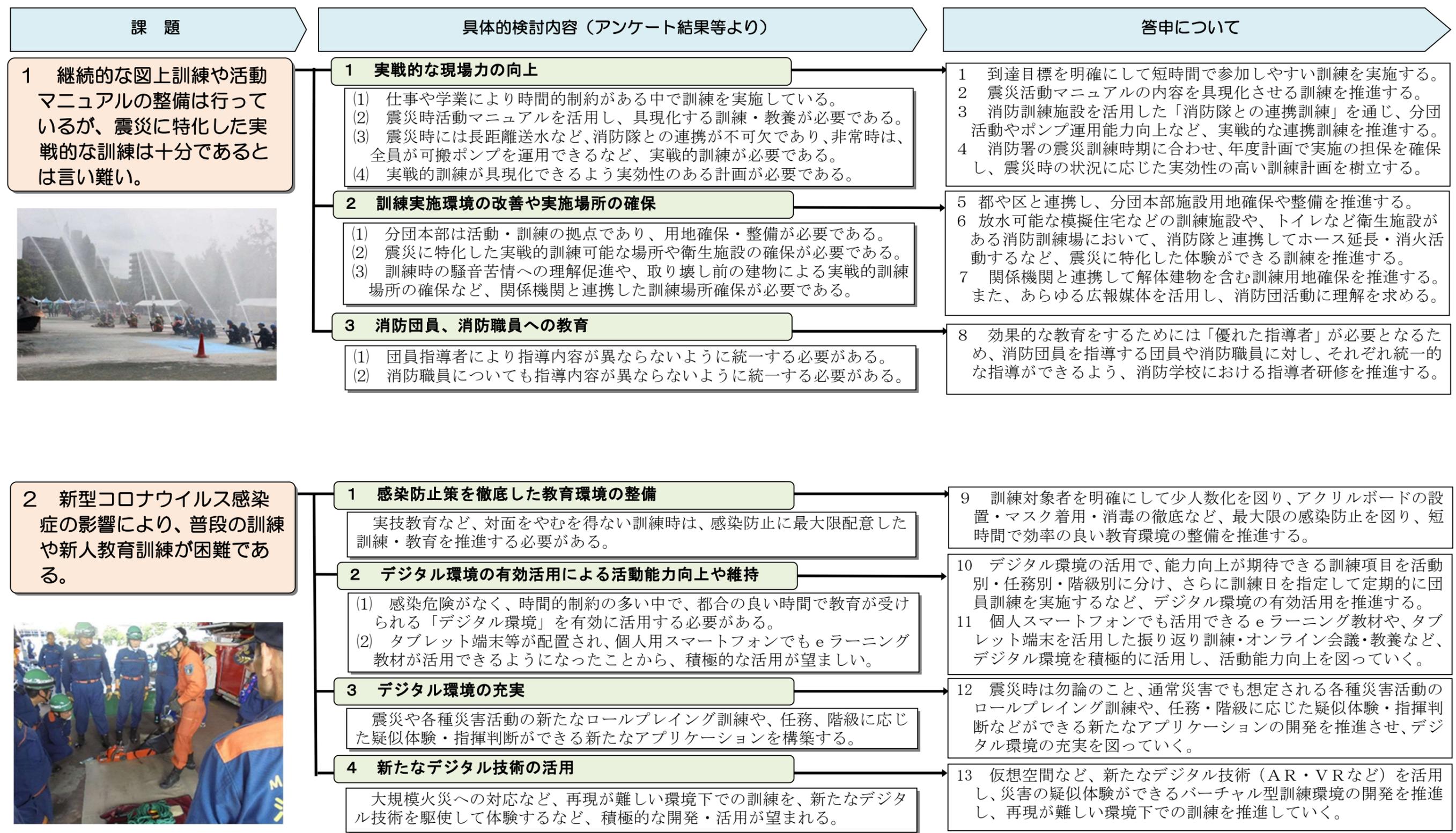


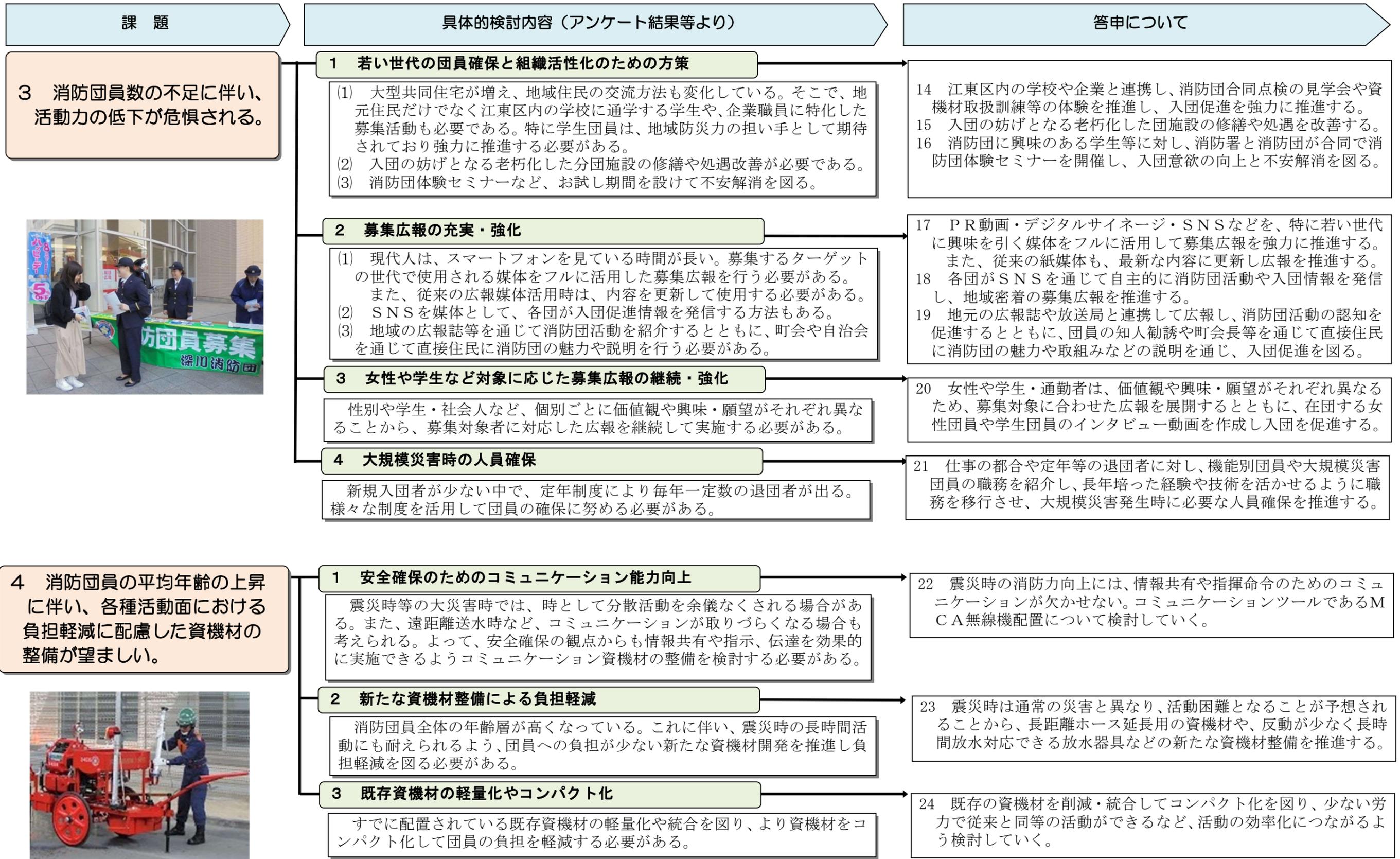
3 都知事諮問事項についての答申結果と答申を踏まえた対応方針について

資料2-3「主な答申結果と答申を踏まえた対応方針について」参照

江東区消防団運営委員会諮問に係る答申 概要一覧

【諮問事項】 大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか





主な答申結果と答申を踏まえた対応方針について

1 本業等を持ち、時間等の制約がある消防団員が効率的・効果的に活動能力を向上させる方策について

(1) 実戦的活動力の向上関係

ア 特別区消防団震災マニュアル等を活用した実戦的な訓練及び署隊と連携した訓練が必要である。

→ 新たな訓練モデルの整備及び検証による実戦的活動力の強化

江東-2

イ 実際の街区等を使用した震災想定の実戦的な訓練が必要である。

→ 可搬ポンプ積載車による出場から放水まで等の一連の火災対応訓練の推進

江東-6

ウ 消防団が主体となった総合的な訓練が必要である。

→ 消防団訓練指導マニュアル等の整備による主体的な活動の定着化

(2) 研修等の充実関係

ア 消火班等に特化した研修や教育など教育訓練の充実が必要である。

→ 可搬ポンプ実技講習の試行及び検証による実戦的活動力の強化

イ 職員が団員と同一研修に参加するなどの統一的な教育の推進が必要である。

→ 消防団の消防学校研修等への職員の聴講の検討

江東-8

ウ 消防学校が行う研修や資格取得講習の受講人員の増強が必要である。

→ 消防学校研修や各種講習のアンケートや時勢を踏まえた随時見直し

(3) 訓練環境の充実関係

ア 消防署訓練施設や方面訓練場などの更なる活用が必要である。

→ 消防署訓練施設や方面訓練場を有効に活用した訓練の推進

江東-6

イ 区など関係機関等と連携した新たな訓練場所の確保や総合的な訓練を実施できる大規模な訓練場の整備が必要である。

→ 区など関係機関と連携した訓練場所の確保推進

江東-7



2 デジタル環境を有効活用した知識・判断力等の向上方策について

(1) 現行のデジタル環境の活用関係

ア オンライン教養や遠隔による訓練指導の推進が必要である。

→ 東京消防団eラーニングシステムの更新による利便性の向上 江東-11

イ 訓練録画映像による振り返り訓練の推進が必要である。

→ タブレット端末を有効に活用した教養や訓練の推進 江東-10



団本部にて災害現場から送られた映像を確認し共有

(2) 新たなデジタル環境の整備関係

ア 災害対応や指揮の判断等ができるアプリの開発や導入が必要である。 江東-12

イ 二次元コード活用による各種資機材の取扱説明動画の導入が必要である。

→ 各種資機材取扱い動画等にアクセスできる二次元コード読取り方式の導入検討

ウ ARやVRなど最新のデジタル技術を活用した訓練環境の導入が必要である。

→ ARやVR等の技術を活用した訓練導入に向けた調査研究 江東-13

(ARやVR等の調査研究委託)

3 消火活動能力を低下させないための入団促進及び充足率の維持向上方策について

(1) 若い世代の団員確保関係

ア 若年層へSNSでの情報発信、インターネット広告の充実が必要である。

→ HP及びSNS等を活用した消防団活動に興味を抱く情報発信の推進 江東-17

イ 学生や企業の若年層を対象とした募集や体験入団の推進が必要である。

→ 消防団活動を知ってもらうためあらゆる機会に消防団活動の見学や資機材等の展示の推進 江東-18

ウ 現役団員との座談会の実施が必要である。

→ 現役消防団員との座談会の実施方法の検討

＜（参考）城東消防団の活動紹介＞

TikTok	Instagram	X(旧Twitter)
		

(2) 募集広報の充実及び強化関係

ア SNSの活用やインターネット広告による募集の強化が必要である。

→ インターネット広告による募集広報の拡充

イ 対象別（学生、女性など）リーフレットを活用した募集広報が必要である。

→ 各種リーフレット等への二次元コード掲載による「東京消防団エントリーシート」を活用した入団促進

ウ 団員のインタビュー動画の充実が必要である。

→ 団員インタビュー動画を活用した地域紹介や消防団の魅力が伝わる広報の推進

江東-20

(3) 各種制度の利活用

ア 消防団協力事業所及び制度の周知が必要である。

→ 消防団協力事業所による社会貢献や消防団PRの強化

イ 学生消防団認証制度のメリットの周知及び付加価値の検討が必要である。

→ 学生認証制度の周知による募集広報の強化

ウ 大規模災害団員制度等による消防団を継続できる環境の推進が必要である。

→ 大規模災害団員制度等の更なる周知と活用による退団への対策の強化 江東-21

4 効果的かつ負担軽減した装備資機材の検討について

(1) 新たな資機材関係 ◀ 江東-23

ア ホース延長など、より迅速かつ負担軽減可能な資機材整備が必要である。

(ホースバック、電動のホース延長台車等)

→ 震災時等、迅速にホース延長できるホースバックの整備

イ 震災時等に備えた大量放水できる消火資機材の整備が必要である。

(台座付き放水銃、大量放水可能な軽量ガンタイプノズル等)

→ 資機材電動化や新しい技術を取り入れた資機材、及び消火能力や安全管理向上のための資機材導入検討



背負い式ホース延長器具



軽量型ガンタイプノズル

(2) 軽量化など負担軽減関係 ◀ 江東-24

ア 油圧救助資機材や手引き可搬ポンプ搬送台車など、各既存資機材の軽量化やコンパクト化、電動化の検討が必要である。

イ 既存資機材の整理統合の検討が必要である。

→ 更新に合せた既存資機材軽量化やコンパクト化など市場開発動向の注視と検討



電動式ホースカー



重量：約12・

手動式油圧救助器具

特別区消防団運営委員会への諮問事項について

I 諮問事項

変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか

II 諮問の趣旨

特別区消防団は、地域になくてはならない代替性のない存在であり、地域防災力の中核として、住民の負託に応えてきたところである。
さらに、本年(令和5年)は、関東大震災から100年の節目の年であるなど、消防団への期待はさらに高まっており、東京の安全安心を守っていくためには地域防災力の中核である消防団が、将来にわたって更に充実し、消防団としての役割を果たしていく必要がある。
一方で、特別区においては、人口が2035年ごろに減少に転じ、2050年をピークに高齢化が進行すると予測されているほか、近年は、DXの進展によるテレワークなどの働き方の多様化や、単身世帯の増加による地域コミュニティの希薄化など、社会情勢は常に変化している。
このことから、各消防団や各区の特性なども踏まえながら、変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ、住民の負託に応え続ける方策について諮問するものである。

III 課題・検討事項(骨子・案)

資料3-2のとおり

IV 審議期間・回数

令和5年8月から令和7年3月まで(1年8ヶ月間) ・令和5年度1回、令和6年度2回 計3回の審議予定

特別区消防団運営委員会の諮問に係る課題・検討事項(骨子・案)

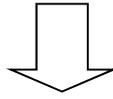
I 地域防災の要である消防団として、変化及び成長していくための方策			
検討事項	課題	具体的検討事項	検討の方向性
検討事項1-1 入団し活動を継続したいと思える組織の活性化方策について、区の地域特性や消防団の現況(構成等)を踏まえ検討する。	① 団活動によりやりがいを持てる方策の検討	やりがいを感じる活動や各世代等でやりがいに違いがあるかなどを検討 検討結果に基づき、やりがいを持てる方策内容を検討	団員に対するアンケートを実施し、結果を踏まえ検討する。
	② 資格取得講座の拡充等の検討	既存講座の拡充や消防団活動において必要な資格等について検討 多様な職業等からなる消防団の特性を活かした団員から団員への講話や研修の検討	
	③ 多様な主体との協働による地域密着型の各種講習や教養講座の検討	各地域に根付いている企業や官公庁、消防団協力事業所等と連携した講習や講座、ワークショップの発掘	
検討事項1-2 最新の技術等を考慮した活動環境の改善方策について検討する。	① 災害への出場命令や、団員間の情報伝達のあり方の検討	MCA無線に代わる無線機への更新や配置人員の見直し、無線関係機器の統合による利便性の向上 電話や緊急情報伝達システムに代わる出場指令手段の導入など	
	② 消防団事務の効率化が可能なタブレットを活用したシステムの検討	現行整備されているタブレット端末の更新に合わせた新たなアプリやシステムの導入など	
	③ 各種資機材の更新に合わせた仕様変更等の検討	環境に配慮した装備資機材の検討や仕様変更による利便性の向上、負担軽減	
II 活動力を地域で発揮し、地域住民の負託に応え続けるための方策			
検討事項	課題	具体的検討事項	検討の方向性
検討事項1-1 消防力維持のため、計画的な人材育成方策について検討する。	① 経験が浅い消防団員への教育訓練体制や目標、内容の検討	具体的訓練目標や到達状況の確認の実施	これまでの特別区消防団運営委員会答申に基づく、東京消防庁の施策を踏まえ、検討する。
	② 経験豊富な団員(中核となる団員)による訓練指導体制等の検討	長年の消防団活動で培った知識や技術を実戦的訓練指導への反映 訓練指導者の研修や体制など制度の検討など	
	③ 操法訓練と実動訓練の実施の目安などの検討		
	④ 訓練効果の確認方策について検討		
検討事項1-2 地域に尽力している消防団を地域住民により知ってもらう方策について検討する。	① 積極的な災害活動の定着化と区等と連携した普及方法の検討	消防団員が災害活動に従事する意識向上のための方策について 区や関係団体と連携した、消防団活動の新たな認知度向上方策の検討	
	② 地域から、より理解と信頼を得る消防団づくりの検討	地域行事や消防団行事などを通じた、地域住民の消防団活動に対する理解促進方策について 消防団員が行う総合防災教育等を通じた、将来を見据えた児童・生徒の消防団活動に対する理解促進方策について	

諮問に対する審議予定

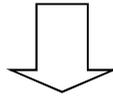
諮問事項等	「変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」 令和5年8月16日 東京都知事⇒⇒⇒江東区消防団運営委員会 【答申期日 令和7年3月31日】
-------	--

※審議期間は、令和5年8月から令和7年3月まで

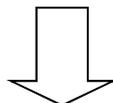
第1回	令和6年1月22日	・前回の答申報告 ・今回の諮問事項の内容説明 ・今後の諮問会議の日程等
-----	-----------	---



第2回	令和6年9月中旬～下旬予定	・諮問に対する答申案の検討
-----	---------------	---------------



第3回	令和7年1月下旬 ～2月上旬予定	・諮問に対する答申案の検討 ・答申案の承認
-----	---------------------	--------------------------



答申	「変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」 江東区消防団運営委員会⇒⇒⇒東京都知事 【答申期日 令和7年3月31日】
----	--